

2

ナルニア国物語 2

ライオンと魔女と衣装だんす

C・S・ルイス

土屋京子・訳

玉樹庵・画

(光文社古典新訳文庫刊)



第2話 ルーシーが見たもの(前編)



これは
なんと！



なんと！









…それで
しょうね

それで
しょうとも

まったく

わたしときたら
馬鹿なことを
聞いて!

でも
わたし

アダムの
息子さんや
イヴの娘さんを
これまで一度も
見たことが
ないのです

だって――

いやあ
うれしいな



わたしは
タムナスと
申します

?



うれしい
です

…よかった



自己紹介を
させてください

はじめまして

タムナス
さん



ひとつ
おたずねしても
よろしいでしょうか
イヴの娘であられる
ルーシーさん?

ナルニアへは

どのようなにして
おいでになったの
ですか?

ナルニア?

何のこと
ですか?







この後ろの
ほんの
すぐそこ……

……だと
思います
けど

あっちは
夏でした



それに
ひきかえ
ナルニアは
冬です



ずっとずっと
前から
冬なんです



さの
こんな
雪の中で
立ち話を
していたら

わたしたち
二人とも
かぜをひいて
しまいますよ

とこしえの夏が
まぶしい
へいっしょたんすの
街が栄える

遠き
へきやふまの国から
おいでになった
イヴの娘さん

わが家へいらして
お茶でも一杯
いかがでしょう？

どうも
ありがとう
ございます

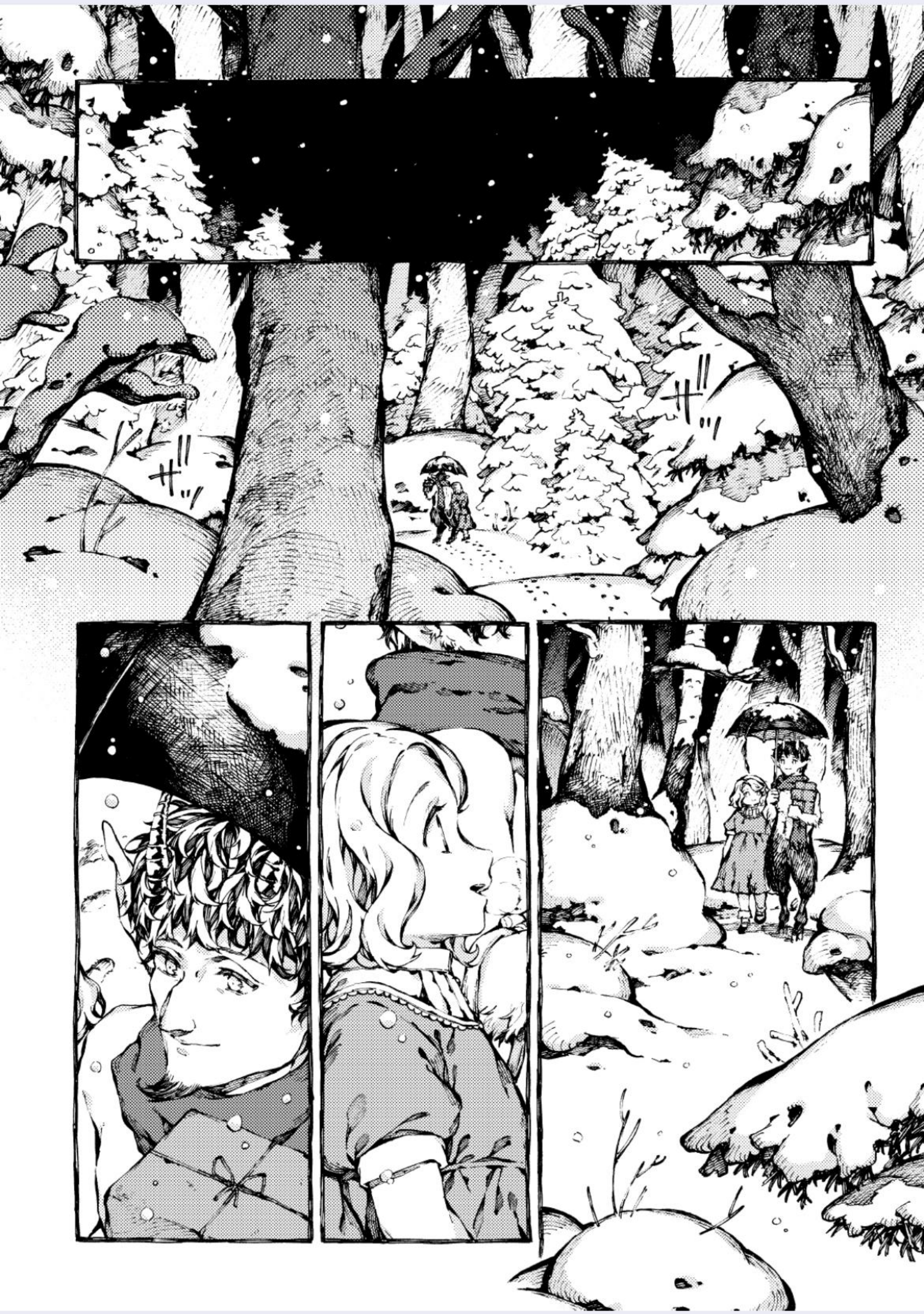
タムナスさん

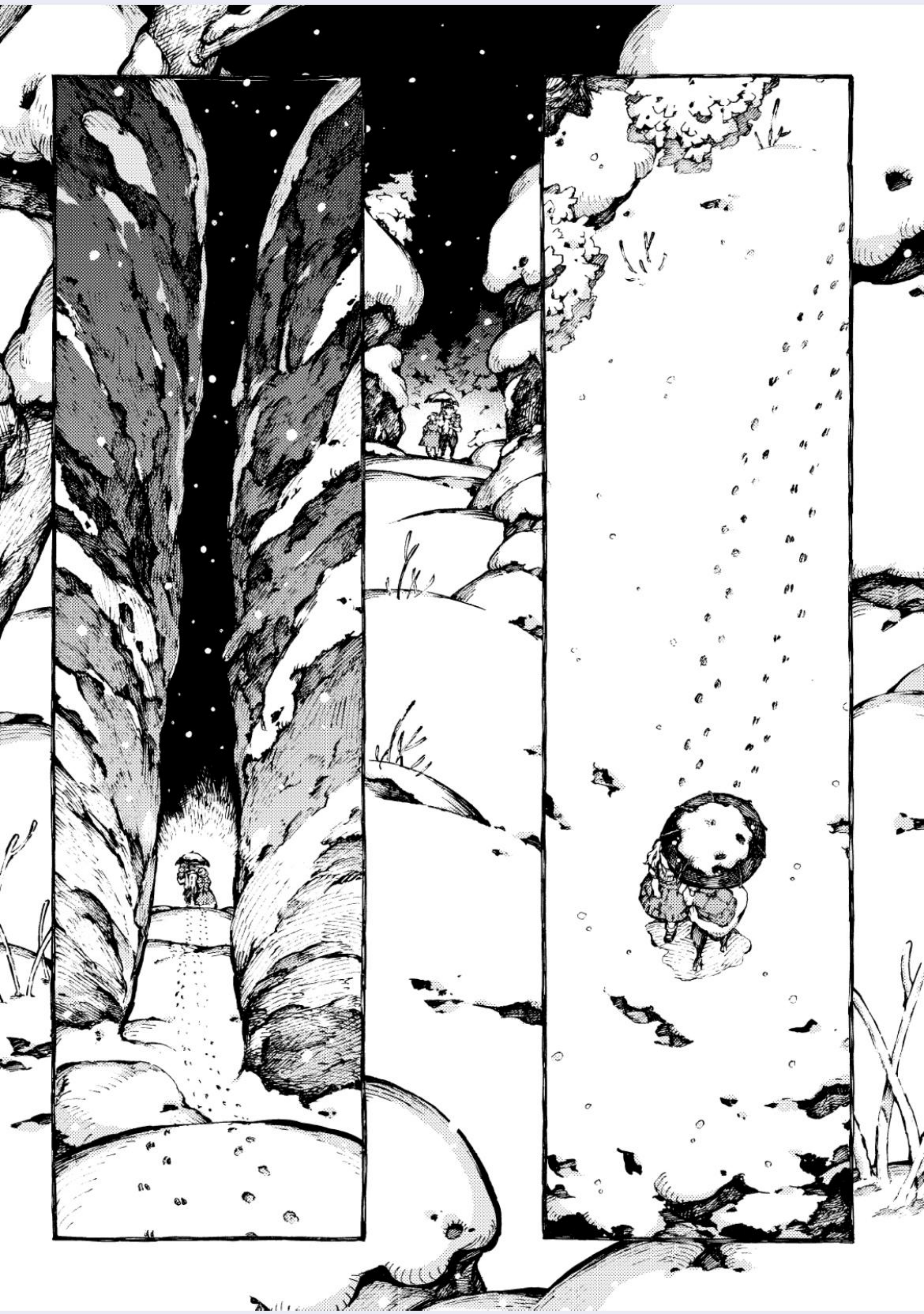
でも
わたし

もう
帰らないと

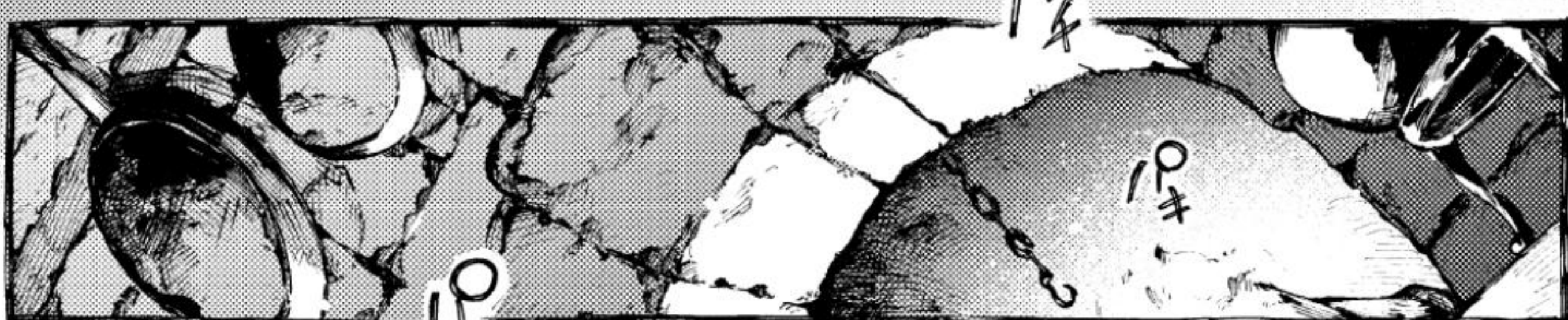
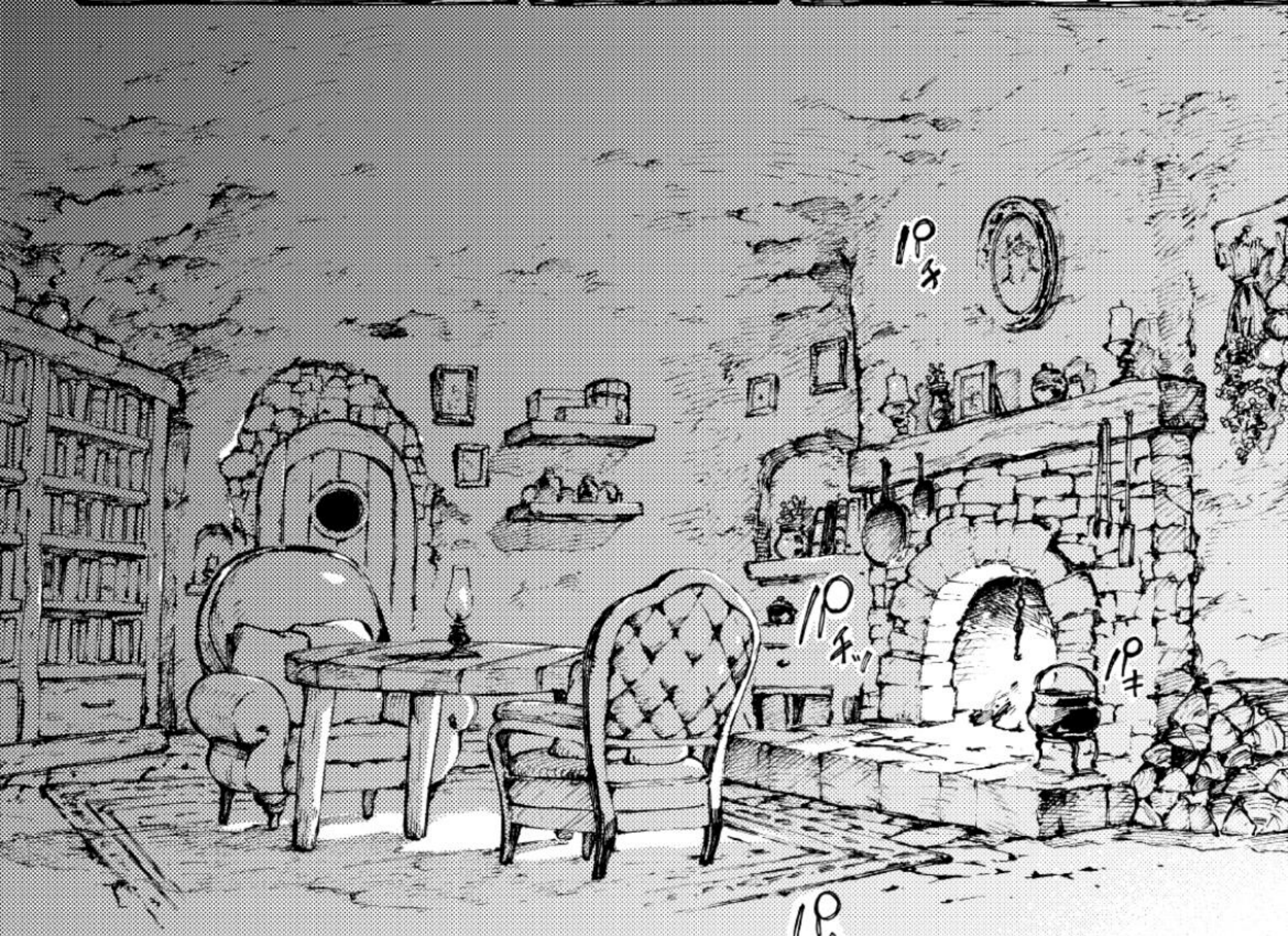












10
4

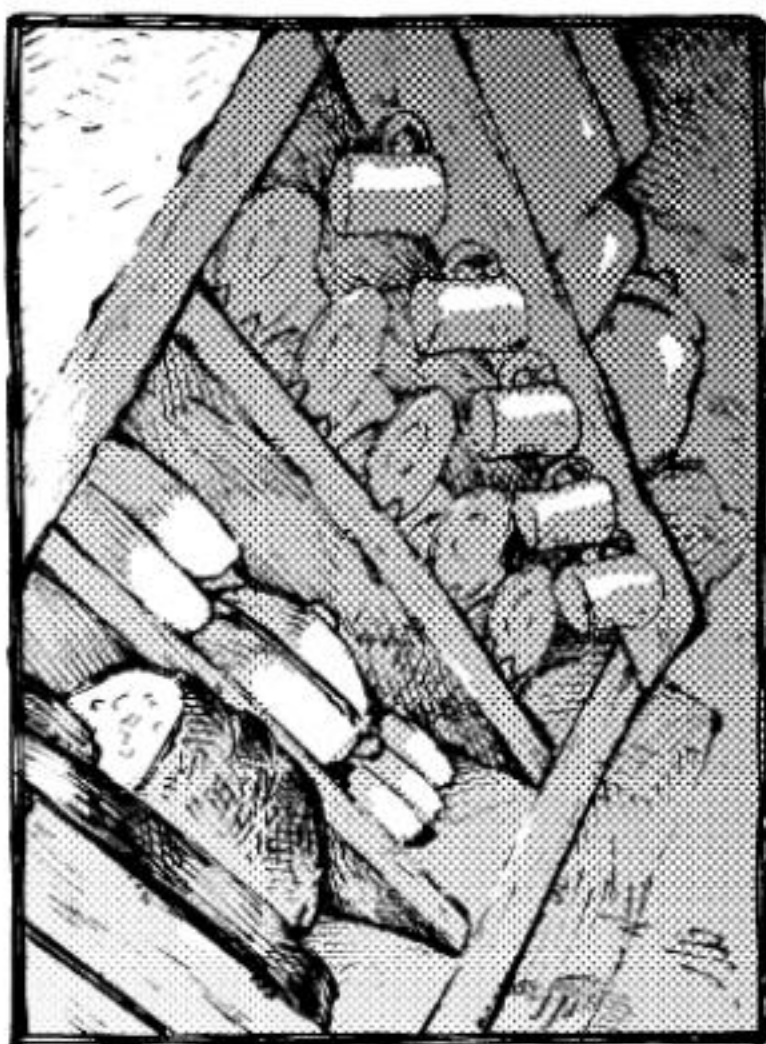
10
4

10
4





こっちは
わたし用
もうこっちは
友だち用です



こんなに
すてきな場所は
見たことがないわ！



きっとむこうに
タムナスさんの
寝室があるのね







——長い冬が
来る前

森での暮らしは
たいそうすばらしい
ものでした



泉のニンフや
森のドリユアスが
姿をあらわし

願いをかなえる
ミルク色の雄ジカを
追って

真夜中
踊りあかす
ダンスパーティー

延々と続く
狩猟パーティー



森の地下

はるか
深いところにある
鉱床や洞窟

気性の荒い
赤ドワーフ族と
いっしょに楽しむ
宴会や宝探し

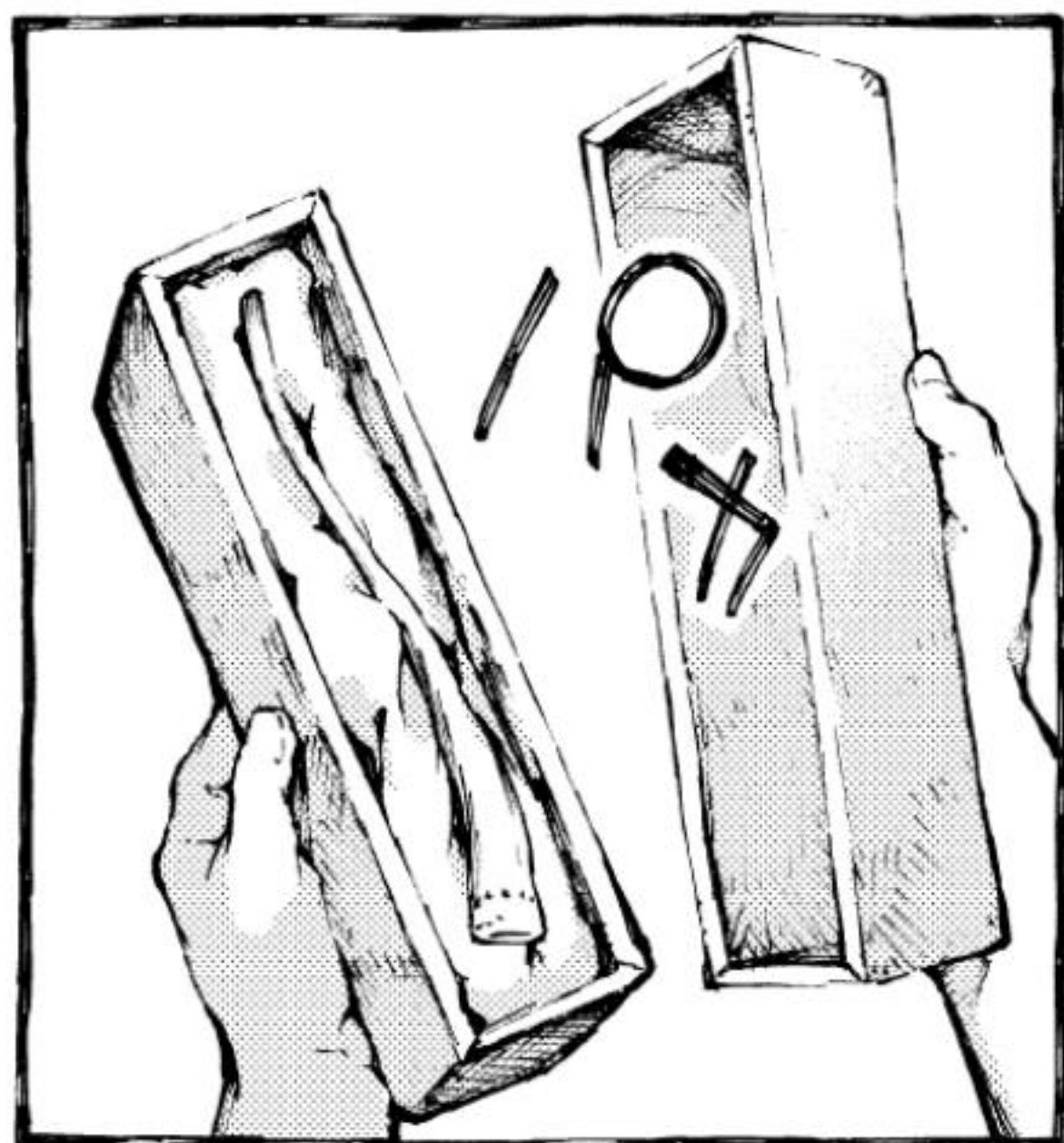
夏になって
森が
緑になるころ

太ったロバに乗って
訪ねてくる
年取った
森の精シレノス

おんたい
バツカス御大が
顔を見せときには
森を流れる水すべてが
ワインに変わり

何週間も続く
森をあげての
お祭り騒ぎ――













まだ
途中なのに

ごめんなさい

とっても
すてきな
曲なんですけど

ほんとうに

わたし
もう帰らないと

ほんの五分くらい
おじやまするだけの
つもりだったのに



